

製品名: GLUD1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84156**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.61mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 61 kDa ; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

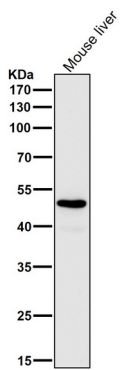
遺伝子名	GLUD1
別名	GDH; Gdh-X; GDH1; GLUD; Glud1; Glud1a; Glud1b; Gludl; MRG-2;;Glutamate dehydrogenase 1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P00367
免疫原	ヒトグルタミン酸脱水素酵素 1 から誘導された合成ペプチド

背景

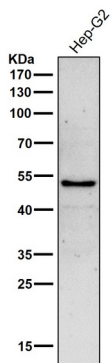
ミトコンドリアグルタミン酸脱水素酵素は、L-グルタミン酸から α -ケトグルタル酸への変換を触媒します。トリカルボン酸回路の重要な中間体である α -ケトグルタル酸を産生することにより、グルタミン補充において重要な役割を果たします。また、インスリン恒常性維持にも関与します。

研究分野

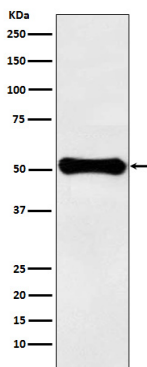
画像データ



すべてのレーンでは、抗体を 1:2k 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2k 希釈で室温で 1 時間使用します。



HepG2 細胞溶解物中の GLUD1 発現のウェスタン ブロット解析。